

平成30年8月28日
株式会社 但馬銀行

「地域密着型金融への取組みと金融仲介機能のベンチマークの活用について」の開示について

株式会社 但馬銀行（頭取 倉橋 基）は、平成29年度における地域密着型金融の推進ならびに金融仲介機能のベンチマークにかかる取組み状況を別紙のとおり開示しましたのでお知らせいたします。

【本件に関するお問合せ先】

但馬銀行 法人営業部 地域密着推進課
担当：中島、北垣 TEL：0796-24-2133

以 上

地域密着型金融への取組みと金融仲介 機能のベンチマークの活用について

平成30年7月

目次

一、地域密着型金融に関する基本方針と「金融仲介機能のベンチマーク」の活用について	・・・1ページ
二、平成29年度の実績	・・・2ページ
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	・・・2ページ
2. 地域の面的再生への積極的な参画	・・・14ページ
三、平成30年度の実績方針	・・・17ページ

一、地域密着型金融に関する基本方針と「金融仲介機能のベンチマーク」の活用について

地域密着型金融に関する基本方針について

当行は、次の3つの項目を重点項目として地域密着型金融を推進し、地域の中小企業等の事業拡大や経営改善に向けた経営努力を支援してまいります。また、こうした取組みを通じて、地域経済の活性化ならびに顧客基盤の維持・拡大、収益力や財務の健全性の向上に取り組んでまいります。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

顧客企業との日常的・継続的な取引により構築された信頼関係を通じて、経営の目標や課題を把握し、関係機関と連携してその実現や解決に向けてコンサルティング機能を発揮し、ライフステージに応じた最適なソリューションを提案・実行いたします。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

顧客企業や関係機関を通じて得られる各種の地域情報を収集・分析し、成長分野の育成等の貢献可能な分野や役割を検討して、地域の面的再生に向けて積極的に役割を果たしてまいります。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融の取組みに関して、その目標や成果を積極的に情報発信することにより、利用者の理解を深め、地域における評価を確立して、顧客基盤の維持・拡大に努めてまいります。

「金融仲介機能のベンチマーク」の活用について

地域金融機関には「金融仲介機能のベンチマーク」を自己点検や自己評価に活用することにより、金融仲介機能の取組みを改善し、取引先企業の企業価値向上等を通じた経済成長や自身の経営安定化につなげていくことが期待されています。

当行におきましても「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の発揮による地域経済の活性化や改善に向けた取組みをすすめてまいります。

二、平成29年度の取組実績

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

◆ライフステージに応じた取引先への支援

○ ライフステージに応じた支援

当行では創業支援、成長支援、経営改善支援など、ライフステージに応じたお客さまのニーズや課題に対して適切なソリューションの提供に取り組んでいます。

【関連するベンチマーク】ライフステージ別の与信先数および融資額

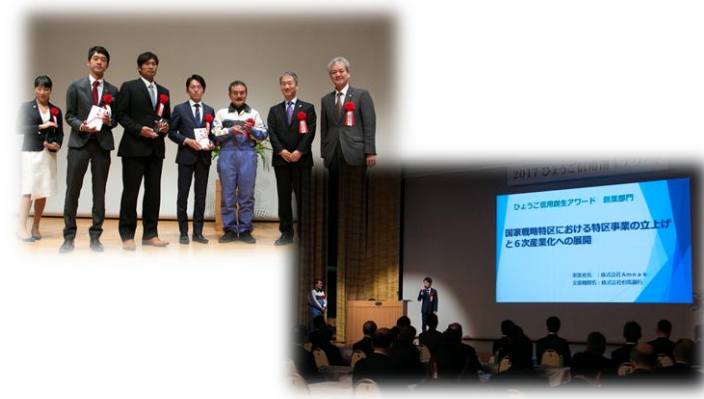
	平成28年度		平成29年度	
	与信先数	融資額	与信先数	融資額
創業期	498先	184億円	632先	231億円
成長期	318先	220億円	318先	223億円
安定期	2,852先	1,252億円	2,905先	1,338億円
低迷期	184先	62億円	193先	59億円
再生期	432先	167億円	436先	158億円

➤ 「ひょうご信用創生アワード」への参加

県内金融機関等を通じて創業、成長、事業再生の3部門について取組事例の募集があり、当行からは創業部門で株式会社Amn a k、事業再生部門にて株式会社佳長がそれぞれ優秀賞を受賞しました。

(注) 「ひょうご信用創生アワード」は兵庫県内の金融機関等が連携して行った県内中小企業・小規模事業者への金融、経営支援の取組みに関して、優れた成果を上げた事例を顕彰することを目的に平成29年度より創設されました。

【ひょうご信用創生アワード2017】



○ 創業・新事業支援

創業・新事業展開にかかる支援を希望される取引先に対して、（公財）ひょうご産業活性化センターや提携しているコンサルタント等の専門家による個社別の経営相談、事業計画の策定支援、販路開拓手法等のアドバイスを行っております。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
金融機関が関与した創業・第二創業にかかる取引先数	103先	108先
創業支援件数（創業計画策定支援、融資支援等）	164件	217件

（事例紹介） 行政や地元住民と連携した創業支援への取組み

➤株式会社マイハニーによる養蜂業への取組み

国家戦略特区（養父市）において、耕作放棄地を花畑に再生し、養蜂業の蜜源として活用するビジネスモデル（定住型の養蜂業）を実践するため、事業の立上げを支援しました。

事業の展開に際しては、地域住民の協力を得ながら、高付加価値商品の開発・販売を目指し、行政と連携した交付金の申請・計画策定支援、アグリ特区保証融資制度（農業融資に対する信用保証制度）による資金調達、地元事業者・大手百貨店などの販路紹介、生産拠点の整備支援などを行いました。

【ハチミツポーション】

【再生したワケ畑】



○ 成長段階における支援

➤ 中小企業支援施策の活用提案

革新的な商品・サービスの開発や設備の効率化・省エネ化による生産効率の改善等への取組みなど、事業者の成長を促す公的補助金の積極的な活用を提案するなど、国や地方公共団体が行う中小企業支援施策を活用した支援を行っております。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
本業支援先数	258先	363先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	214先	284先
外部専門家、外部機関等を活用して技術力・経営力等の経営分析等を行った先数	34先	55先
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	46先	113先

➤ 中小企業支援施策セミナーの開催

兵庫県や自治体の実施する中小企業向け支援施策の周知や活用促進を図るため、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、西脇市の7市町において、各地の自治体や商工会等と連携し、「中小企業支援施策セミナー」を開催しました。

【中小企業支援施策セミナー】



➤クラウドファンディングを活用した事業化支援

地域の特色ある商品開発や新事業展開を検討している取引先に対して、クラウドファンディングの活用を提案し、販路拡大や事業計画策定支援を行っております。

(注) クラウドファンディングとはインターネットを活用し、出資者から少額ずつ資金を集める仕組みです。

➤生産性向上をテーマとしたセミナーの開催

取引先企業の設備投資による生産性向上を支援するため、経営力向上計画の策定や活用方法について解説する「経営力向上計画策定支援セミナー」を県内4ヶ所（豊岡市、加古川市、小野市、神戸市）にて開催しました。

【自動車用LEDヘッドランプ開発ファンド】



【経営力向上計画策定支援セミナー】



（事例紹介）6次産業化への取組み

➤株式会社川岸畜産による6次産業化への取組み

6次産業化への取組みを通じて、但馬牛のブランド価値向上や販路拡大に取組むため、「但馬・養父6次産業化支援ファンド」からの出資を受けて、飲食事業の立上げ、加工食品事業への取組み強化に取り組んでいます。



○ 販路拡大支援にかかる取組み

各地の商工会議所・商工会等外部機関や地方銀行のネットワークを活用し、商談会等を開催しました。取引先に対して各種商談会への出展および参加誘致を行うなど、ビジネスチャンスの拡大に向けた支援に取り組んでいます。

➤ 「たんぎん産業メッセ2017」の開催

「国際フロンティア産業メッセ2017」と同時開催し、独自の技術力や特徴あるサービスを提供している取引先の販路開拓支援を行いました。

➤ 「地方銀行フードセレクション2017」の開催

兵庫県内の特産品や地域食材の販路拡大を支援するため、地方銀行54行により食品展示商談会「地方銀行フードセレクション2017」を共催しました。

➤ 「地域食材展示商談会2018」への参加

兵庫県内の特産品や地域食材の販路拡大を支援するため、平成30年2月にホテルグランドパレスにおいて食品事業者向け商談会である「地域食材展示商談会2018」に参加しました。

【たんぎん産業メッセ】



【地方銀行フードセレクション】



【地域食材展示商談会】



【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
販路開拓支援を行った先数	43先	83先

○ 顧客企業の海外への進出支援

➤ 専門機関と連携した海外進出支援

海外進出を検討している取引先に対して、日本貿易振興機構（ジェトロ）やひょうご海外ビジネスセンターが実施する相談窓口や現地の市場調査など、各種の支援施策を活用した海外進出支援を実施しております。

海外進出支援施策の活用先数 16 先



➤ 「香港フードEXPO2017」への出展支援

兵庫県内の地域食材の海外展開や取引先企業の海外マーケティングを支援するため、香港で開催されるアジア最大の食品展示会「香港フードEXPO2017」への参加企業の推薦ならびにひょうご海外ビジネスセンターと連携した出展支援を実施しました。

【香港フードEXPOジャパンパビリオンの様子】



○ 中小企業の人材確保に関する取組み支援

➤ プロフェッショナル人材事業の推進

経営人材を活用してマーケティングや販路拡大に取り組む中小企業を支援するため、「ひょうご専門人材相談センター」を活用したプロフェッショナル人材（専門人材）の紹介を行っています。



【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介先数	2先	13先

➤ 自治体や県内中小企業と連携した就職支援事業の実施

県内企業へのUターン就職の促進ならびに中小企業による人材確保の取組みを支援するため、自治体や県内の中小企業と連携して、大学3年生を対象にしたインターンシップ、企業見学会、業界研究セミナーをそれぞれ実施しました。

【業界研究セミナーの様子】



○ 人材育成支援、働き方改革に関する取組み

➤ 兵庫労働局との働き方改革にかかる包括連携協定の締結

兵庫労働局と平成30年1月に「働き方改革に関する包括連携協定」を締結いたしました。

当行では、兵庫労働局と連携して、兵庫県内の中小企業における雇用の促進・安定、人材育成、労働生産性の向上を支援して参ります。



➤ 温泉旅館における働き方改革への取組み

城崎温泉旅館協同組合が豊岡市と協力し、温泉旅館の働き方改革の取組方法を多方面の切り口で紹介する「城崎温泉新しい働き方ミーティング」を平成29年5月から10月にかけて実施しました。（全6回）

当行もミーティングに積極的に参加し、参加事業者の経営課題解決に向けた取組みを支援しています。

【城崎温泉新しい働き方改革ミーティング】



➤ 但馬同期会の開催

但馬地域の中小企業における人材育成を支援するため、新入社員を対象としたセミナーやワークショップを定期的で開催し、ビジネススキルの向上や企業の垣根を越えた人脈づくりに取り組んでいます。

なお、平成30年4月からは第2期生による活動をスタートしています。



○ 経営改善・事業再生支援

経営改善への取組みが必要な取引先に対して、外部機関や専門家派遣制度を活用した経営課題の洗出し、改善指導を実践しており、これらを通じた経営改善計画の策定支援ならびに実行支援を行っています。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
貸付条件の変更先における経営改善提案を行った取引先数	55先	69先
うち外部専門家を活用した先	25先	36先
中小企業再生支援協議会の再生計画策定先数	8先	1先

貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善の進捗状況

	平成28年度	平成29年度
好調先	83先	62先
順調先	184先	157先
不調先	111先	97先

○ 金融機関がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加がみられた先数

当行メイン取引のお客さまの先数および経営指標（売上高、売上総利益率、キャッシュフロー）の改善や雇用の増加がみられた先数は以下のとおりです。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
経営指標が改善した先	2,132先	2,227先
(参考) メイン先数	2,815先	2,885先
全取引先数	4,533先	4,641先

○ 事業承継支援

事業承継にかかる課題を抱えた取引先に対して、自社株評価による承継資産の把握や事業承継計画の策定支援について、外部機関・専門家等と連携した課題解決策の提案を行うなど、円滑な事業承継等に向けた支援を行っております。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
事業承継支援先数	68先	108先
転廃業支援先数	7先	9先
M&A支援先数	7先	9先

➤M&A支援に向けた取組強化

事業承継に関する対応策の一環として、M&A（合併・買収）支援への取組みを強化するため、公的機関との連携強化やM&A仲介業者との業務提携に関する契約を締結しました。

当行では、これらの関係機関と協力して公的支援策の活用や情報収集等に取り組む、取引先のニーズに迅速に対応してまいります。

◆事業価値を見極める融資手法等の活用

○ 事業性評価に基づく融資の拡大

取引先に対して事業性評価を適切に実施し、本業支援や課題解決にかかる提案ならびに実行支援を通じた融資拡大に取り組みました。

【関連するベンチマーク】

	平成28年度	平成29年度
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	353先	406先
全与信先数に占める割合	7.0%	7.9%
事業性評価に基づく融資を行っている融資額	675億円	723億円
全与信先に占める割合	31.1%	32.0%

➤成長分野への資金供給

今後、成長が期待できる新分野における事業拡大や生産設備の効率化、雇用増加に取り組む企業に対して「たんぎん成長基盤強化サポートローン」による資金対応を行っております。

たんぎん成長基盤強化サポートローン貸付実績 363件 131億円

(注) 今後成長が期待できる新分野

- ①環境・エネルギー事業 ②医療・介護・健康関連事業 ③高齢者向け事業 ④観光事業
- ⑤農林水産業、農商工連携事業 ⑥起業、地域再生・都市再生事業 ⑦資源確保・開発事業
- ⑧防災対策事業 ⑨保育・育児事業

2. 地域の面的再生への積極的な参画

◆地域活性化事業への参画等

○西脇市との包括連携協定の締結

兵庫県西脇市と地域経済の発展に寄与することを目的として、包括的な連携協定を締結しました。

特に連携を進める事項として、「地域産業の創出、成長支援等の商工業振興」、「農業振興および6次産業化の推進」、「観光交流の促進」、「若者等の就労および定住の促進」を掲げております。

【連携協定締結式】



○行政と連携した観光イベントの開催支援

兵庫県但馬県民局、豊岡市等との共催による「山陰海岸ジオパークコウノトリチャレンジライド」、香美町等との共催による「香住・ジオパークフルマラソン大会」の開催にあたり、ボランティアスタッフの派遣や事業への協賛などを行っています。

【山陰海岸ジオパーク
コウノトリチャレンジライド】



【香住・ジオパークフルマラソン大会】



○ 移住定住相談窓口の設置

兵庫県内の自治体（豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、西脇市）が実施する移住定住に関する各種支援制度の情報提供や移住、U J I ターンに関する相談の取次ぎを行うため、京阪神地域の4支店（姫路支店、神戸支店、大阪支店、京都支店）に、相談受付窓口を設置しました。

【移住・定住相談窓口】



○ 移住者向け住宅ローン商品の取扱開始

豊岡市、養父市、西脇市への移住者を対象として、転職により職歴の短い方でも申込み可能な「移住・定住支援ローン」の取扱いを開始しました。（豊岡市、養父市、平成29年6月）（西脇市、平成30年3月）

但馬銀行
移住・定住支援ローン

ポイント① 住宅の資金
移住・定住に伴う居住用住宅の購入・リフォーム資金にご利用いただけます。

ポイント② 転職して聞かない方もOK
移住により転職して聞かない方も、勤続年数や前年度年収にかかわらずお申込みいただけます。

ポイント③ もしもの時にも安心
万が一に備えた「団体信用生命保険」等もご利用いただけます。

但馬銀行
TAJIMA BANK

○ 観光活性化に向けた取組み

- ・歴史や文化、生活圏を共有し、多くの観光資源を有する兵庫県北但西部（新温泉町、香美町）、因幡（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）の観光活性化に取り組むため、「麒麟（きりん）のまち観光局」（広域観光DMO）の設立に際して役職員の派遣等の支援を行いました。（平成30年3月）

【麒麟のまち観光局設立記念式典】



【麒麟のまち圏域】



- ・豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、西脇市から情報提供を受けて、弊社本支店ロビーの電子掲示板を活用し、各地の名所や名産品などの観光情報の発信を行っています。

麒麟獅子（新温泉町）



うへ山棚田（香美町）

三、平成30年度の取組方針

「地域密着型金融に関する基本方針」に基づき、以下の取組みを行っております。

基本方針	項目	具体策
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	(1) ライフステージに応じた取引先への支援 (2) 事業価値を見極める融資手法等の活用 (3) 海外への進出支援	① 創業・新事業支援 ② 成長段階における支援 ③ 経営改善・事業再生支援 ④ 事業承継等支援 ⑤ 6次産業化支援 事業性評価に基づく融資の拡大 海外進出支援制度の活用
2. 地域の面的再生への積極的な参画	(1) 地方創生関連事業への参画等	① 地方公共団体による地域活性化に関する事業への参画 ② 兵庫県との産業振興連携協定にかかる事業の推進 ③ 行政機関等外部機関と連携した各種セミナーの実施
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信	(1) 取組状況等の公表	当行ディスクロージャー誌、ホームページ、当行主催・共催セミナーでの公表

当行は、「顧客から最も支持・信頼される銀行」を目指し、地域の中小企業・小規模事業者の育成・支援、顧客利便の向上、地域貢献への積極的な取組みなど、地域密着型金融を推進し、地域の発展に貢献してまいります。